

はじめに

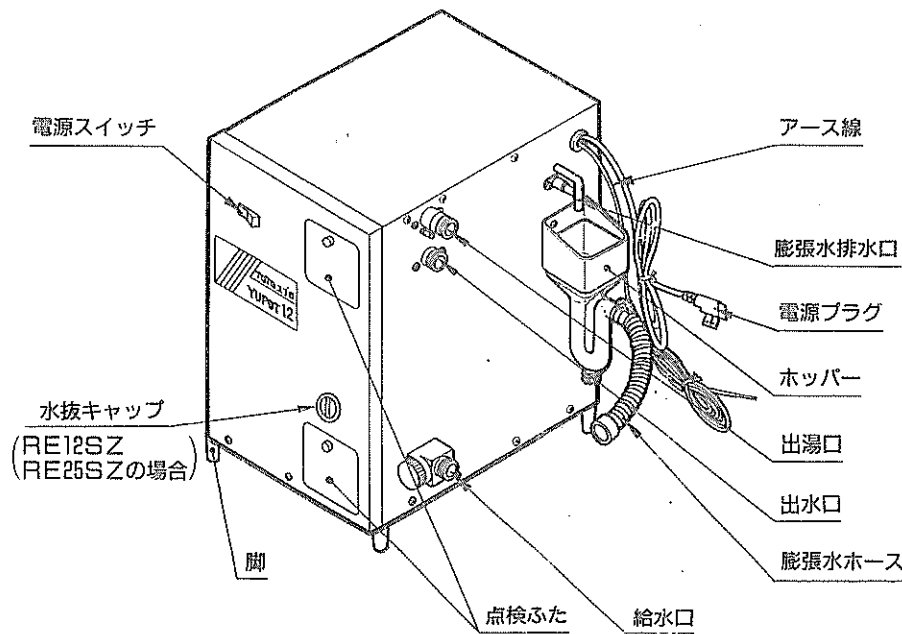
このたびは、TOTO先止め式電気温水器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

製品の機能が十分発揮されるように、この取付説明書の内容にそって正しく取付けてください。

1. 電気工事が必要な場合は必ず電気工事店に依頼してください。
2. 商品にはお客様用として、保証書・ご愛用のしおりを製品に張付けています。工事完了後、お客様に手渡してできない場合は、製品に張付けたままにしておいてください。
3. 保証書には、お買い上げ店名又は工事店名及びお取付け日を必ず記入してください。

各部の名称

(図は、RE12SZを示しています。)



部品の確認

まず、次の部品があることを確認してください。

<p>① 電気温水器本体</p> <p>(図は、RE12SZを示しています。)</p>	<p>② ホッパーユニット</p> <p>ホッパー、膨張水ホース、パッキン、水抜キャップ(寒冷地用の場合)</p>
<p>③ ご愛用のしおり保証書・水抜き用チューブ</p> <p>ご愛用のしおり保証書、水抜き用チューブ</p>	<p>④ 脚</p> <p>アジャスター、脚(4本)、固定金具、木ねじ(2個)、木ねじ(4本)</p>

必要別売品

① 排水ソケット	
一般住宅用	集合住宅用
品番 TH 500 DA	品番 TH 500 DV1
排水ソケット 防臭栓	排水ソケット 配管用アダプタ (呼び径40)

② 2穴混合栓時の連結管

連結管	A寸法(mm)	個数	品番
出湯側	450	1	TN65-2X
出水側	550	1	
給水側	600	1	

③ 一穴混合栓時の連結管・パイプホルダー

連結管	A寸法(mm)	個数	品番
出湯側	400	1	TN65-3X
出水側	500	1	
給水側	600	1	
ニップル		2	
パイプホルダー			

ナット、取付座(2ヶ)、クランプ(2ヶ)、支え棒(2ヶ)、木ねじ(4ヶ)

仕様

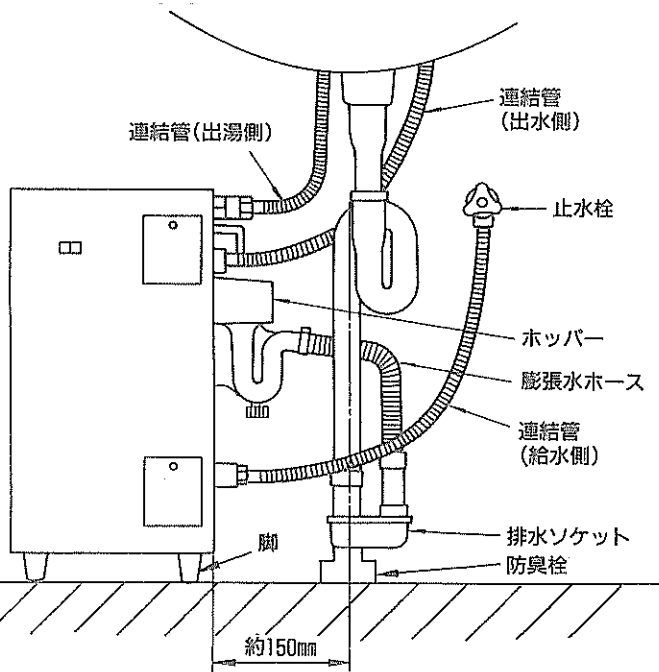
項目	機種	内容	
		湯ぽっと12 (RE12S、RE12SZ)	湯ぽっと25 (RE25S、RE25SZ)
定格 (交流100V 50/60Hz)		500W	600W
タンク容量		11.5ℓ	24.5ℓ
沸上り時間 (入水温約15°C→85°C)		約2時間	約3時間30分
製品寸法		242mm(幅)×350mm(奥行)×401mm(高さ)	360mm(幅)×395mm(奥行)×399mm(高さ)
給水方式		先止め式(減圧弁・逃し弁内蔵)	
沸上り温度		約85°C	
安全装置		温度過昇防止器(手動復帰式バイメタル)	
使用水圧		0.5~7.5kgf/cm ²	
使用可能雰囲気温度		0~40°C	

取付前の注意

1. 電気製品ですので、水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気が多い場所での使用は避けてください。特に、浴室内では使用しないでください。
2. 電源は、交流100V(50/60Hz)最高消費電力は、RE12S・RE12SZは500W、RE25S・RE25SZは600Wです。必ずこれに適した配線をしてください。
3. アースは、第3種接地工事(100Ω以下)を行ってください。
4. 給水圧力範囲は、0.5~7.5kgf/cm²です。この圧力範囲でご使用ください。
5. 給水は、上水道に接続してください。中水道及び異物を多く含む水には使用できません。
6. 連結管内の水抜きがスムーズにできる勾配で配管してください。

説明書 (RE12S・RE12SZ) (RE25S・RE25SZ)

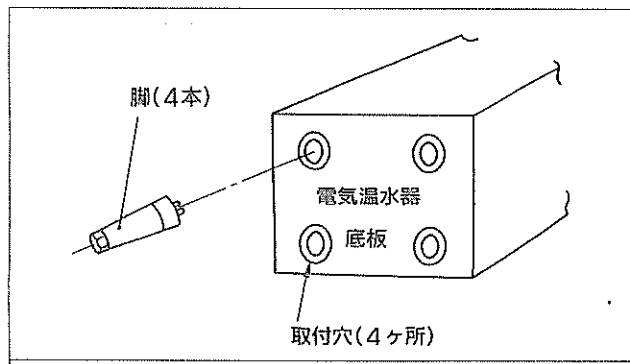
標準施工図



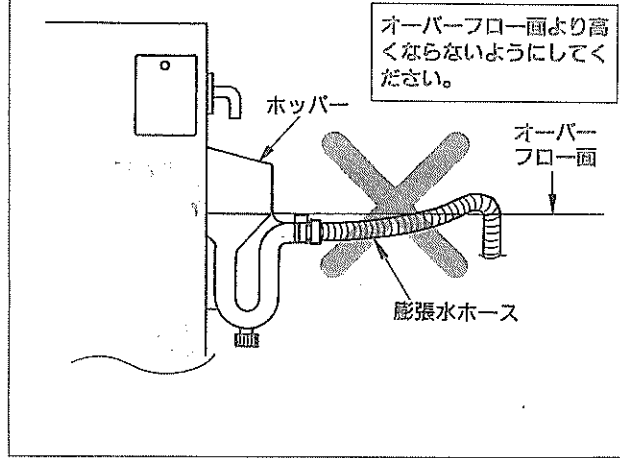
取付方法

1. 同梱部品の取付け

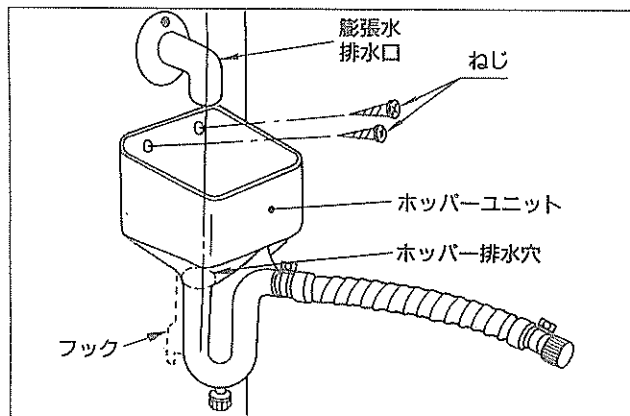
①脚の取付け



必ず同梱の脚を電気温水器底版の取付穴に差し込んでください。そうしないと膨張水ホースが逆勾配になり、ホッパーから膨張水がオーバーフローします。



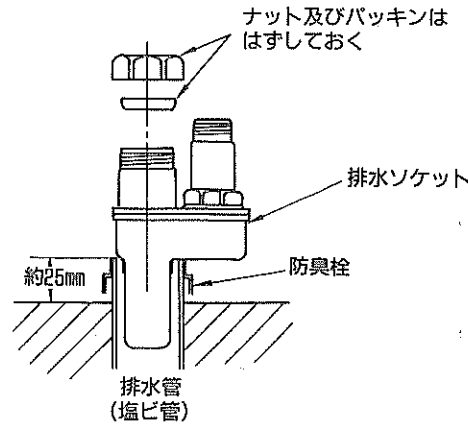
②ホッパーユニットの取付け



●ホッパーユニットのフックを電気温水器に差し込んでねじで固定してください。
●膨張水排水口にホッパー排水穴のセンターを必ず合わせて取付けてください。

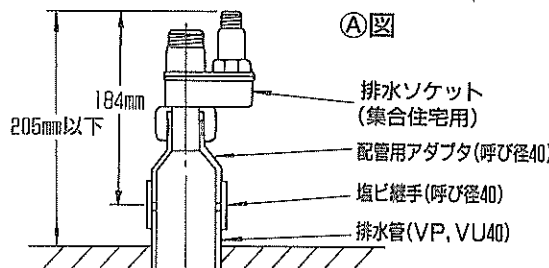
2. 排水ソケット・排水トラップの接続

①一般住宅の場合

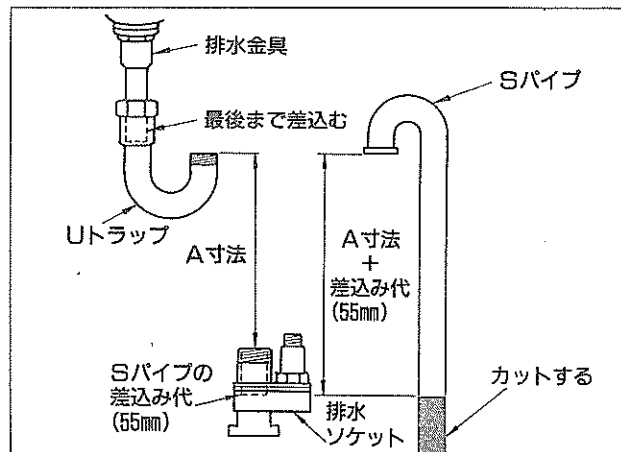
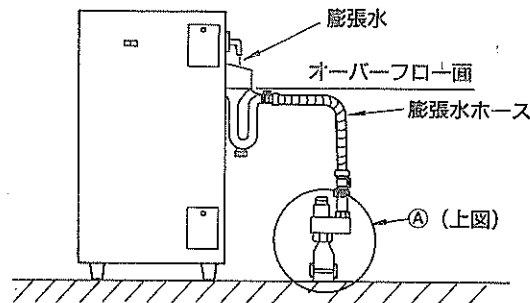


●排水管に別売の防臭栓をはめて排水ソケットを確実に差込んでください。

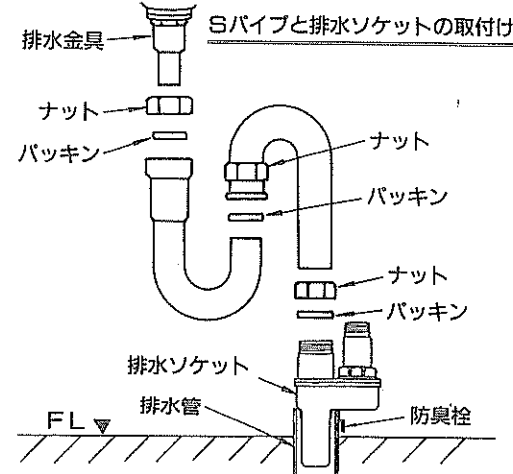
②集合住宅(マンション等)の場合



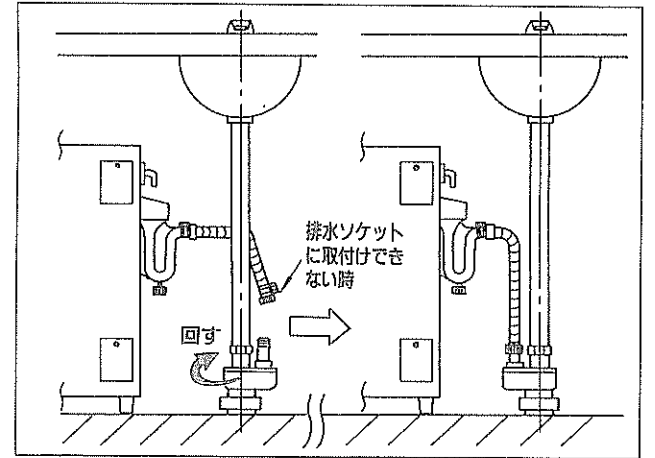
●排水管に塩ビ継手を取付け配管用アダプタを固定した後、排水ソケットを確実に差込んでください。
※別売の排水ソケット(集合住宅用)を必ず使用してください。
※膨張水ホースはホッパーオーバーフロー面より必ず下になるように配管してください。ホッパーオーバーフロー面より上になるとホッパーから膨張水がオーバーフローします。



●Uトラップを排水金具にセットしてSパイプの長さを決めてください。



※膨張水ホースが短く排水ソケットに接続ができない場合は、排水ソケットを回して取付けができる位置で接続してください。

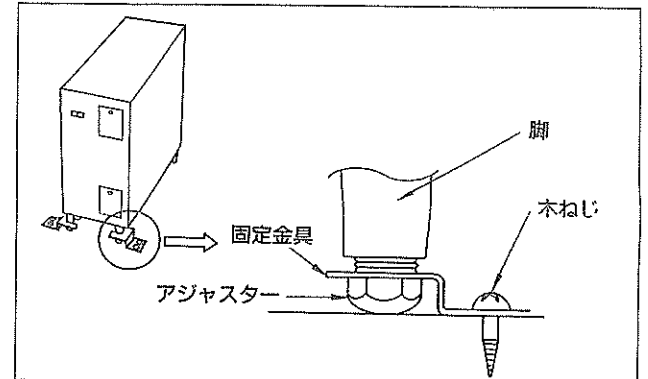


3. 連結管の取付け

●2穴の混合栓の場合

※(標準施工図)通り連結管及び膨張水ホースを取付けてください。
●連結管出水側は混合栓の水側へ接続してください。
●連結管出湯側は混合栓の湯側へ接続してください。
※一穴混合栓の取付方法は裏面をご覧ください。

4. 電気温水器の取付け



●付属の固定金具(2ヶ)で電気温水器の脚を固定してください。

5. 電気温水器への通水及び通電

①電気温水器への通水

- (1)止水栓を開けてください。
- (2)給水ハンドルを閉め、給湯ハンドルを全開にしてください。
- (3)タンクが満水になると混合栓から水が出はじめます。

満水時間	RE12S	—約1分
	RE12SZ	—約1分
	RE25S	—約2分
	RE25SZ	—約2分
- (4)配管接続部に水漏れがないことを確認してください。

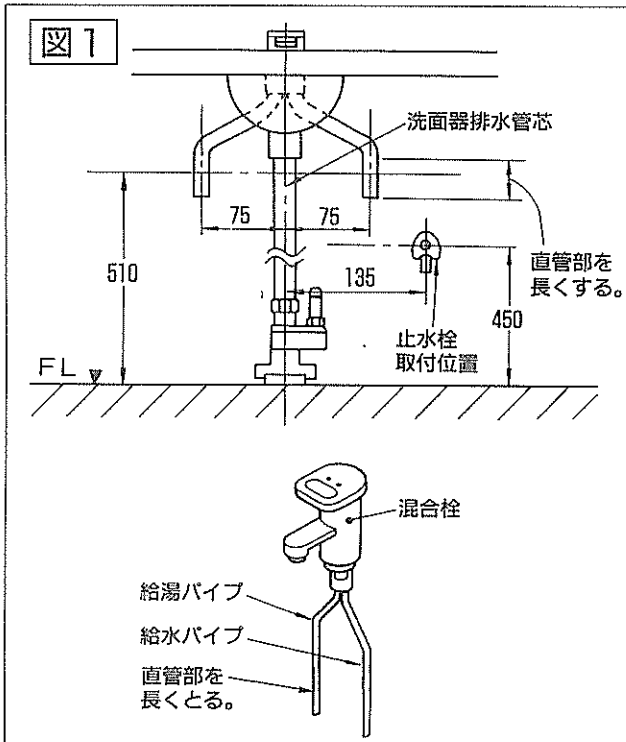
②電気温水器の通電

- 通電確認を次の方法で行なってください。
- (1)電源プラグを、100V用コンセントに差し込み、電源スイッチを入れてください。通電ランプが点灯すれば正常です。
 - (2)通電してお湯が沸上がるまでRE12S・RE12SZは、約2時間、RE25S・RE25SZは約3時間30分かかります。(入水温15°Cの時)
 - (3)電源スイッチを「切」にすると、通電ランプは消えます。
 - (4)設置後、長期間使用されない場合は、電源スイッチを「切」にしてください。(凍結のおそれがある場合は裏面の水抜き方法にそって水を抜いてください。)

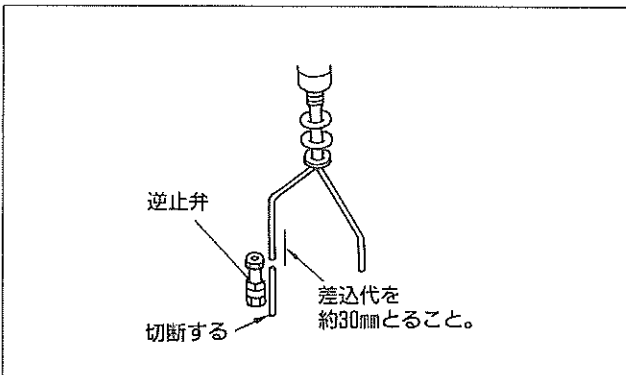
6. 一穴混合栓の時の施工(寒冷地用を除く)

※一穴混合栓に電気温水器を取付ける場合、次の手順で行ってください。
 〈新設〉と〈既設〉では、取付方法が異なりますので、ご注意ください。

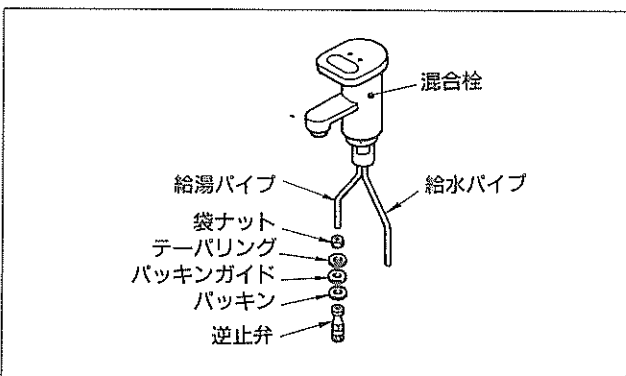
〈新設の場合〉



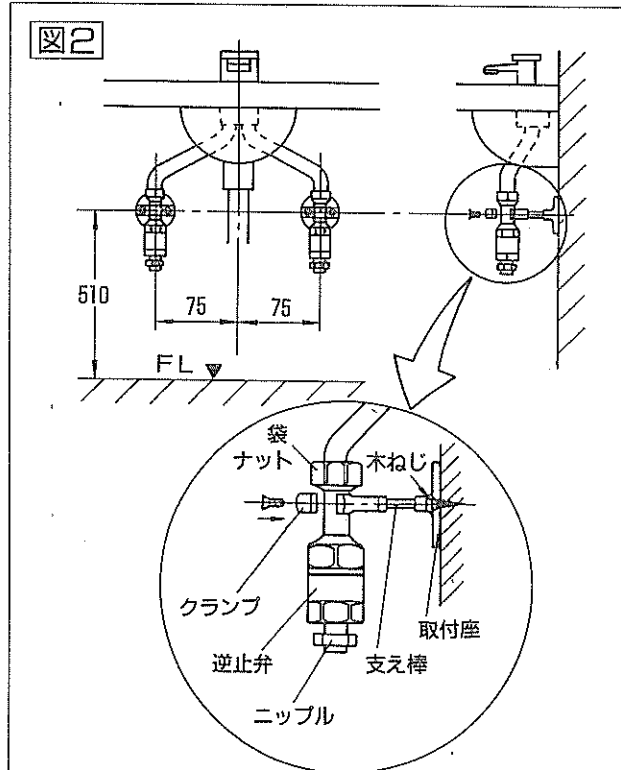
- 混合栓本体が正面を向くように仮固定し、給水・給湯パイプを図1の寸法を目安に曲げて広げてください。
- このとき、できるだけ直管部が長くなるようにしてください。また、給水・給湯パイプがつぶれないように注意してください。



- パイプの差込代を約30mm確保して、給水・給湯パイプを切断してください。



- 給水・給湯パイプに袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順に入れて、逆止弁を差込んでください。

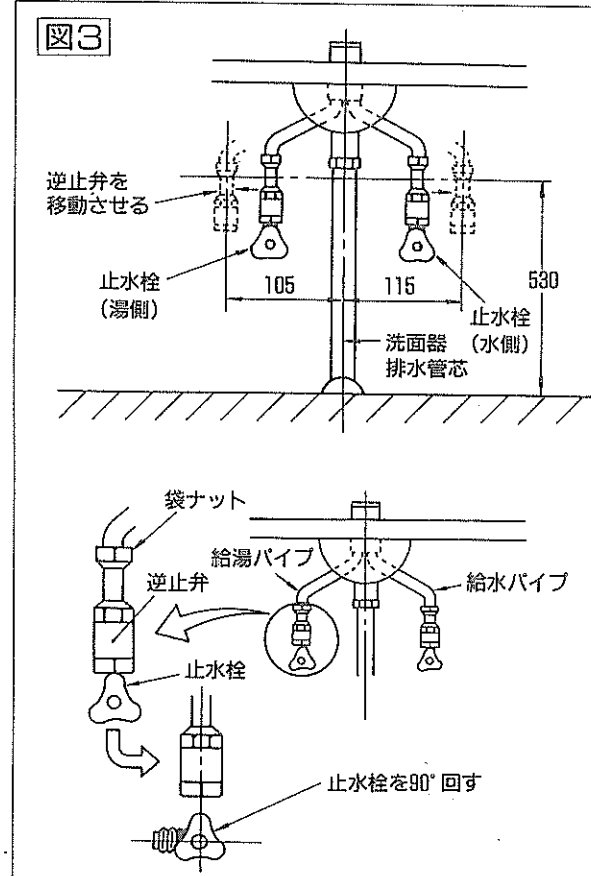


- 取付座を図2の寸法を目安に木ねじで壁に取付けてください。そのあと逆止弁をクランプで固定してください。(固定しないと、給水・給湯パイプが抜けることがあります。)
- 逆止弁にニップルを取付けてください。

- (標準施工図)通り連結管及び膨張水ホースを取付けてください。付属の固定金具(2ヶ)で電気温水器の脚を固定してください。

表面の「5. 電気温水器への通水及び通電」にそって電気温水器へ通水し、通電確認を行ってください。

〈既設の場合〉



- 既に一穴混合栓が取付けられている場合は
 1. 止水栓を閉める
 2. 逆止弁の袋ナットを外す
 3. 逆止弁をゆるめる
 4. 止水栓を90°回して逆止弁を外す
 外し終わったら図3の寸法を目安に給水・給湯パイプを曲げて移動させてください。

- 逆止弁にニップルを取付けてください。
- 逆止弁を再度パイプに差込んだあと、湯側の止水栓を外し図2の要領で逆止弁を固定してください。
- 湯側止水栓を外したら予備給水管プラグを必ず取付けてください。

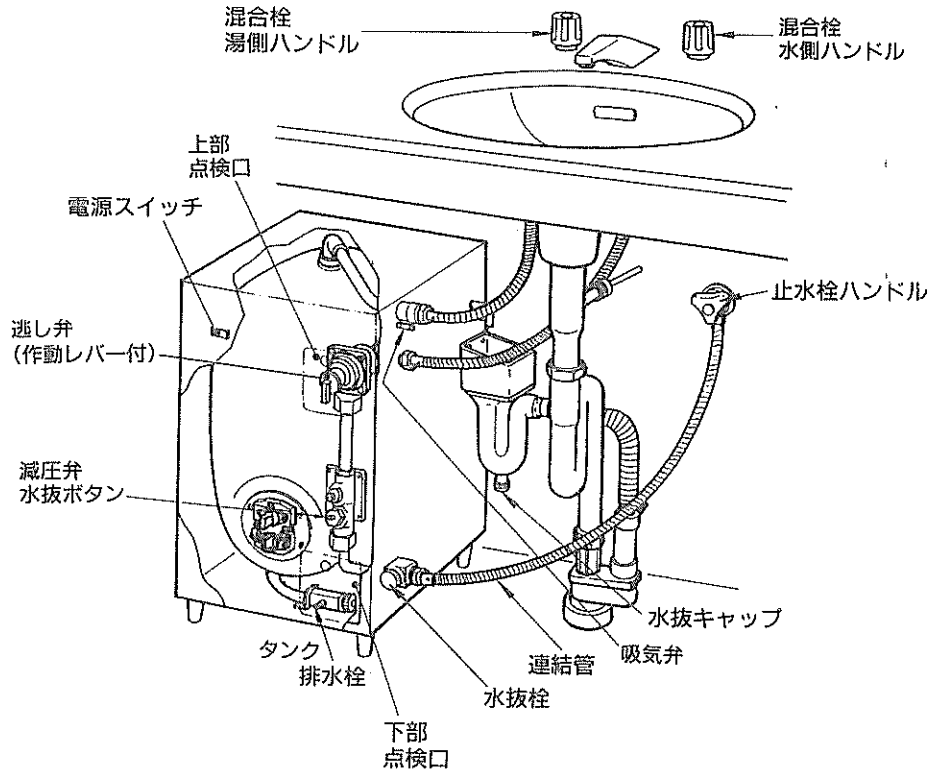
- (標準施工図)通り連結管及び膨張水ホースを取付けてください。付属の固定金具(2ヶ)で電気温水器の脚を固定してください。

表面の「5. 電気温水器への通水及び通電」にそって電気温水器へ通水し、通電確認を行ってください。

水抜き方法

試運転後、引渡しまでに凍結のおそれがある場合は、次の要領で器具内の水を抜いてください。

各部のなまえ



工事店様へ

※ 施工が終わったら必ず各接続部から漏水のないことを確認してください。

※ お客様に《ご愛用のしおり》の注意事項・お手入れ方法などを、十分にご説明ください。

水抜き方法

- ① 電源スイッチを「切」にし電源プラグを抜いてください。
- ② 止水栓を閉めてください。
- ③ 付属の水抜き用チューブをタンク排水栓に接続して、洗面器などで受けた後、排水栓を開けてください。
- ④ 出湯口の吸気弁を開けてください。
- ⑤ タンク内の水が抜け切ったら、洗面器などで受けて給水口の水抜き栓を開けてください。
- ⑥ 前面パネルの水抜きボタン用のキャップを回して外し減圧弁の水抜きボタンを押し、減圧弁及び配管内の残水を出してください。
- ⑦ 洗面器などで受けてホッパーの水抜きキャップを外してください。

● 以上の操作で水抜きは完了します。

水抜き後の処置

- ① 給水口の水抜き栓を閉めてください。
- ② 出湯口の吸気弁を閉めてください。
- ③ タンクの排水栓を閉めてください。
- ④ ホッパーの水抜きキャップを閉めてください。
- ⑤ 前面パネルの水抜きボタン用のキャップ及び点検ふたを閉めてください。

● 以上の操作を行いお客様へ渡してください。